

# 令和 4 年度事業報告

(令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人映像産業振興機構

## 内容

|                                                                          |    |
|--------------------------------------------------------------------------|----|
| 1. 事業の経過.....                                                            | 4  |
| 2. 主な事業の実施状況.....                                                        | 4  |
| (1) 人材育成事業.....                                                          | 4  |
| ① 短編映画製作等を通じた若手映画作家人材育成 (ndjc2022) 文化庁 .....                             | 4  |
| ② 令和4年度映画スタッフ育成事業 文化庁 .....                                              | 5  |
| ③ 映画・映像人材育成事業 京都府 .....                                                  | 6  |
| ④ 令和4年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業 キュレーター等<br>海外派遣プログラム 公益財団法人画像情報教育振興協会 ..... | 6  |
| ⑤ 令和4年度日本映画の海外展開強化事業 文化庁 .....                                           | 7  |
| (2) 内外の市場整備事業 .....                                                      | 10 |
| ① 令和4年度コンテンツ海外展開促進事業 (コンテンツ関連ビジネスマッチ<br>ング事業) 経済産業省 .....                | 10 |
| ② マンガ家等クリエイター志望者支援 企画・運営等業務 (京まふ2022) .                                  | 17 |
| ③ コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金 (J-LODlive) .....                               | 17 |
| ④ コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金 (三次補正) (J-LODlive2)<br>経済産業省 .....              | 18 |
| ⑤ コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金 (J-LOD) .....                                   | 18 |
| ⑥ コンテンツ活用促進事業 東京都..                                                      | 20 |
| ⑦ 令和4年度 メディア芸術海外展開事業 文化庁 ...                                             | 20 |
| ⑧ アーカイブ中核拠点形成モデル事業 文化庁 ...                                               | 20 |
| ⑨ 全国ロケーションデータベースの利用促進のための調査 文化庁 .....                                    | 21 |
| ⑩ コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業 .....                                             | 21 |
| ⑪ 統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)<br>独立行政法人日本芸術文化振興会 .....            | 22 |
| ⑫ 令和5年度文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(キャラバン)...                                   | 22 |

|     |                                                     |          |    |
|-----|-----------------------------------------------------|----------|----|
| ⑬   | アフターコロナに向けた外国映像作品ロケーション誘致に関する実証調査<br>(ロケ誘致 2021)    | 内閣府..... | 22 |
| ⑭   | デジタル時代に向けた大型外国映像作品ロケーション誘致に関する実証調<br>査事業(ロケ誘致 2022) | 内閣府..... | 23 |
| ⑮   | 令和 4 年度日本書籍翻訳・普及事業                                  | 文化庁 ...  | 23 |
| ⑯   | 令和 4 年度海賊版対策事業 (トレーニングセミナー)                         | 文化庁 ..   | 23 |
| ⑰   | デジタル映像クリエイティブ拠点化推進調査・分析業務事業                         | 自治体      | 24 |
| (3) | 自主事業.....                                           |          | 24 |
| ①   | VIP0 アカデミー.....                                     |          | 24 |
| ②   | セミナー・ワークショップ事業(有料) .....                            |          | 26 |
| ③   | AFI Conservatory 日本人留学生推薦事業.....                    |          | 28 |
| ④   | 交流促進事業 .....                                        |          | 28 |
| ⑤   | 情報サービス事業 .....                                      |          | 28 |
| ⑥   | フェスティバルスコープ事業.....                                  |          | 29 |
| ⑦   | VIP0FilmLab 事業 .....                                |          | 29 |
| ⑧   | IKURA 事業.....                                       |          | 31 |
| (4) | 組織運営 .....                                          |          | 31 |
| ①   | 会員の状況.....                                          |          | 31 |
| ②   | 通常総会、理事会、幹事理事会 .....                                |          | 32 |
| (5) | 広報活動 .....                                          |          | 32 |
| ①   | 「VIP0 年間活動報告 2021」の発行.....                          |          | 32 |
| ②   | ホームページの運営.....                                      |          | 33 |
| ③   | VIP0 会員とコンテンツ事業者へのメール配信 .....                       |          | 34 |
| ④   | 事業活動情報の記事露出.....                                    |          | 34 |

## 1. 事業の経過

令和4年度の通常総会（6月28日開催）でご承認いただきました、本年度の事業計画書、会計収支予算書に基づき、人材育成事業、内外の市場開拓等に関する事業を実施いたしました。各事業の状況につきましては、次の通りであります。

## 2. 主な事業の実施状況

### （1）人材育成事業

① 短編映画製作等を通じた若手映画作家人材育成（ndjc2022） 文化庁事業として17年目、35歳までの年齢制限を設けて4年目となる本年度は、32団体より66名の推薦をいただき、昨年度（49名）に比べても大幅な応募者増となりました。一次選考にて選出された15名がワークショップに参加し、最終選考の結果、4名の作家が製作実地研修に進みました。8月の1ヶ月をかけて脚本指導講師のもとで脚本開発に取り組み、演出・画コンテ指導を経て、プロのスタッフ・キャストと共に短編映画作品を完成させました。完成作品は映画業界関係者に向けた合評上映会（東京・京都・大阪・名古屋）、広く一般に向けた劇場公開（東京・大阪・名古屋）を通して多くの方にご覧いただき、講評等を監督にフィードバックしました。本年度の新規事業「長編映画の企画・脚本開発サポート」では、27名の応募者の中から一次選考で選出された13名を対象に、企画書・脚本と面接を踏まえた最終選考の結果、2名の作家を選出しました。2名は開発した脚本を元にパイロット映像を完成させ、映画プロデューサーに向けたプレゼンテーションを実施しました。本事業ではオリジナル作品の企画・脚本をクオリティ・実現可能性とともに高度に開発することを目的としており、その成果は来年度以降に見えてくることとなりますが、研修としては大変厚みのあるものになりました。

また、フォローアップとして、本事業にて完成した短編全77作品に対しては、継続して国内外の映画祭等での機会を提供しました。特に昨年度完成の4作品については、日本映画製作者連盟加盟4社の各社にて上映会を実施し、現役プロデューサーの皆さまから監督に直接ご意見をいただく機会をつくりました。そこで繋がりを築き、プロデューサーと企画開発に進みだしている監督もおります。

VIP0の自主事業としては、歴代 ndjc 作品の特集上映企画を映画館と進めており、来年度に実施できる予定です。

本事業出身監督77名のうち32名が商業長編映画監督デビューを果たしており、なかでも吉野耕平監督（ndjc2014）『ハケンアニメ！』は第46回日



本アカデミー賞にて9部門での優秀賞に加えて新人俳優賞を受賞、松永大司監督（ndjc2010）『エゴイスト』は第35回東京国際映画祭のコンペティションに出品され、第16回アジア・フィルム・アワードでは助演男優賞（宮沢氷魚）を受賞する快挙となりました。

《2022年度 ndjc 出身監督 商業長編映画監督作品》

三宅伸行監督（ndjc2010）

『世の中にたえて桜のなかりせば』（22年4月公開）

吉野耕平監督（ndjc2014）

『ハケンアニメ！』（22年5月公開）

児玉徹郎監督（ndjc2006）

『ドラゴンボール超 スーパーヒーロー』（22年6月公開）

板橋基之監督（ndjc2018）

『Bridal, my Song』（22年9月公開）

松永大司監督（ndjc2010）

『エゴイスト』（23年2月公開）

草薙勲監督（ndjc2014）

『死体の人』（23年3月公開）

## ② 令和4年度映画スタッフ育成事業

文化庁

将来の映画スタッフを育成するため、映画制作の現場での職業体験を希望する学生をインターンとして適切な映画制作現場へ派遣する人材育成事業を平成30年度より受託、毎年改善を重ねております。

コロナ禍ながらも募集開始直後の4月から制作現場・学生ともに希望が多く、新型コロナウイルス感染防止対策を講じている制作現場にて実習を実施しました。例年に比べ長期間参加できる学生が多い傾向で、事務局経費等の削減に努め、実習日数は1,193日と予定日数を上回る結果となりました。実習実績は、学生数50名（30校）、実習現場15作品（15社）です。尚、過去3年の年間実績は、2019：21校53名が18作品（14社）、2020：18校41名が12作品（9社）。2021：21校49名が21作品（13社）となります。

また、2020年度から始めました第一線で活躍するプロを講師に迎えたオンラインセミナーを全国の映画・映像を学ぶ学生を対象に2～3月に3回実施しました。今回は、「映画はこうして作られる！～脚本完成から撮影準備まで～」と題して、『梅切らぬバカ』（ndjc2020 長編映画の実地研修作品／監督：和島香太郎、制作協力：松竹撮影所）のスタッフによるプログラムで

実施し、合計で 151 名の学生が参加しました。

③ 映画・映像人材育成事業

京都府

『京都映画企画市』は、時代劇の拠点である京都から、若手クリエイターを世に送り出すための時代劇・歴史劇映画の企画コンテストです。

本年度の映画企画の応募数は、35 企画と昨年より下がったものの応募企画のレベルは確実に上がっていると思われます。

10 月 16 日に、ファイナリスト 5 名による映画企画コンテストと、歴代優秀映画企画から初の長編化が進んでいる『黒の牛』（2016 パイロット版）の蔦哲一朗監督を招いて長編化記念上映会を京都みなみ会館にて実施しました（長編は 2024 公開予定）。また、昨年度に英語字幕の支援をした『酢と油』（2019 パイロット版英語字幕版）の上映も行ないました。

本年度の優秀映画企画は『うつつの光、うつる夜』鹿野洋平監督に決定しました。10 月中旬からパイロット版脚本執筆、撮影準備を重ね、2023 年 2 月 9～10 日で東映京都撮影所の協力により順調に撮影が進み、3 月 15 日には無事に納品されました。同時に、英語字幕支援も行ない英語字幕版も本年度事業で実施しました。

企画市パイロット版から初長編化の『黒の牛』は、アメリカ・台湾との国際共同製作作品として、2024 年公開予定です。

④ 令和 4 年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業 キュレーター等海外派遣プログラム

公益財団法人画像情報教育振興協会

本プログラムを通じて、メディア芸術をサイエンス、教育、ビジネス等の領域にもまたがって思考し、既存の概念にとらわれず、新しい文化、新しい枠組みを作り出せる次世代のキュレーターや文化プロデューサーとして幅広く活躍する人材の育成を目指します。

2 年目の今年は昨年度に引き続き、アルスエレクトロニカ（オーストリア・リンツ市）のヴィジョン・哲学・実践を学べる実地研修プログラムを実施。

■今年度採択者：鹿又亘平氏（キュレーター／リサーチャー：ロンドン芸術大学修士課程卒業後、日本でアーティストインレジデンスを立上げ、5 年間運営。

■スケジュール

- ・ 5 月～10 月 渡航・研修
- ・ 2 月 成果発表会（東京）

■成果発表イベント「ENCOUNTER」

- ・日程・場所：2023年2月4-14日、寺田倉庫 B&C HALL 2F
- ・テーマ：自分専用のアルスエレクトロニカを作ろう！（アルスのエコシステムの分析と再構築）
- ・展示内容：パネルと立体模型（アルスの組織図を分析することで、新しい自分だけのアルスエレクトロニカを作る）

■採択者によるトーク動画

- ・内容：昨年度と今年度の採択者（蒔野真彩氏・鹿又氏）とアドバイザー（ICC/畠中実氏）によるトーク。研修内容や所感を語る
- ・公開：メディア芸術祭の Youtube にて。3月後半に公開

【（１）人材育成事業及び（２）内外の市場整備事業 にまたがる事業】

- ⑤ 令和４年度日本映画の海外展開強化事業 文化庁  
世界水準の映画制作の推進および日本映画の海外展開の強化を目的とした事業です。

I. アメリカ合衆国・ロサンゼルスでプレスを中心とした映画業界人向けの日本映画上映会を実施。

実施期間：9/25（火）～10/1（土）

上映会場：Harmony Gold Preview House（ハリウッド地区）

上映作品：

『さがす』 片山慎三監督

『メタモルフォーゼの縁側』 狩山俊輔監督

『そして父になる』 是枝裕和監督

『川っぺりムコリッタ』 荻上直子監督

『ケイコ、目を澄ませて』 三宅唱監督

1) トークイベント等：

- ・上映後質疑応答：

- ・上映後パネルディスカッション：

9/28（水）「ファンダムへの挑戦：原作ファンを魅了する『メタモルフォーゼの縁側』の表現」

9/30（金）「アジアのドラマ映画と北米アメリカ視聴者の親和性」（『川っぺりムコリッタ』）

10/1（土）「限界を超えて：困難なアクション役への挑戦」（『ケイコ 目を澄ませて』）

特に米国アカデミー賞を始めとする現地映画賞の投票権をもつ業界人へ日本映画を観る機会を提供し、知名度を高めることを目的として上映会を行いました。各作品上映後には、日本にいる監督たちとオンラインでの質疑応答セッションを実施し、現地業界人から多岐にわたる内容の質問がありました。劇場ロビーにてネットワーキングの場を連日開催しました。

## II. ニューヨークにて現地パートナーであるジャパン・ソサエティーと共に日本映画の特集上映会を実施

実施期間：11/11（金）～20（日）

上映会場：Japan Society オーディトリウム

上映作品：『ウェディング・ハイ』（大九明子監督）、『大河への道』（中西健二監督）、『ワタシの中の彼女』（中村真夕監督）、『子供はわかってあげない』（沖田修一監督）、『グッド・ストライプス』（岨手由貴子監督）、『よだかの片想い』（安川有果監督）、『おとうと』（市川崑監督）、『炎上』（市川崑監督）、『ふたり』（根岸里紗監督）、『LONG-TERM COFFEE BREAK』（藤田直哉監督）、『夜明け』（広瀬奈々子監督）、『川っぺりムコリッタ』（荻上直子監督）、『人間失格 太宰治と3人の女たち』（蜷川実花監督）、『裸足で鳴らしてみせろ』（工藤梨穂監督）、『風の島』（長澤雅彦監督）、『繕い裁つ人』（三島有紀子監督）、『PLAN 75』（早川千絵監督）（合計 17 作品 上映順）

※協力：国立映画アーカイブ（クラシック作品 2 作品の選定）

### 1) トークイベント等：

テーマは“The Female Gaze ～女性映画人の視点～ Women Filmmakers from JAPAN CUTS and Beyond”とし、女性監督や脚本家、撮影監督、プロデューサーなど女性に関わる作品を選出、新作やクラシックを含む 17 作品を上映しました。また実践研修に参加した 3 名の若手監督の作品も併せて上映を実施しています。

ゲストとしてニューヨークに迎えた大九明子監督、荻上直子監督、根岸里紗監督と藤田直哉監督にも各作品上映後に登壇いただき、現地の観客との質疑応答セッションを実施しました。あわせてネットワーキングパーティーも実施、作品を観た観客や、駆け付けた業界関係者との交流を行いました。

### III. ニューヨーク一般劇場での日本映画上映会を実施

実施期間：2023 年 2 月 10（金）～16（木）

上映会場：IFC Center

上映作品：

『ある男』石川慶監督

『ケイコ 目を澄ませて』三宅唱監督

『土を喰らう十二ヵ月』中江裕司監督

『千夜、一夜』久保田直監督

『やまぶき』山崎樹一郎監督（合計 5 作品 上映順）

#### 1) トークイベント等：

ニューヨークにあるアートハウス劇場にて、現地映画館に足繫く通う映画ファンに向けて良質な日本映画を紹介することを目指し実施しました。現地に山崎樹一郎監督（『やまぶき』）を迎え、上映時のQ&Aセッションやネットワーキングレセプション、ニューヨーク大学でのトークセッションなどを実施しました。ニューヨーク大学ではモデレーターとして東アジア研究のルーサー准教授や、劇場ではコロンビア大学助教授角田拓也氏にも参加いただき、映画のより深い考察をもとにしたトークセッションも行いました。

### IV. 日本の若手映画作家の短期実践研修を実施

日本の映画人材の育成および海外進出の促進を目的に、米国映画界のプロフェッショナルを講師に迎え、ニューヨークにて脚本や企画書指導、テーマ別講義および映画関連施設の視察、そして後半はオンライン講義のフォローアップを組み合わせた短期実践研修を実施。

若手映像・映画作家の3名を研修者として公募より選出し、2022 年 11 月から 2023 年 2 月の間で計 7 日間程度研修を実施しました。

#### 【研修者】

- ・根岸里紗（ねぎし りさ）
- ・広瀬奈々子（ひろせ ななこ）
- ・藤田直哉（ふじた なおや）

多様な視点からなるカリキュラムを組み合わせたプログラムとして、(1)脚本指導、(2)企画書指導、(3)テーマ別講義、(4)映画関連施設の視察を実施し、より実践的な講義内容とした。講義は英語で実施（逐

次通訳、脚本と企画書の日英翻訳手配合む)。

## 1) 講義概要

【ニューヨーク対面講義】2022年11月14日～18日

### (ア) 脚本指導

全体講義および個別講義による集中的な脚本指導を実施。研修者の脚本へのフィードバック指導を通して脚本力の向上を図る、実践的な内容。

### (イ) 企画書指導

企画書における実践講義を行った。自身の企画・作品と向き合いピッチや企画書作成の研修を行うことで企画力の向上を図る、実践的な内容。

### (ウ) テーマ別講義

テーマ別講義としてリッキー監督のキャリア形成を中心としたトークセッションを実施。

### (エ) 映画関連施設の視察

【オンライン講義】2023年2月9日～10日

### (ア) 脚本講義

### (イ) 企画書講義

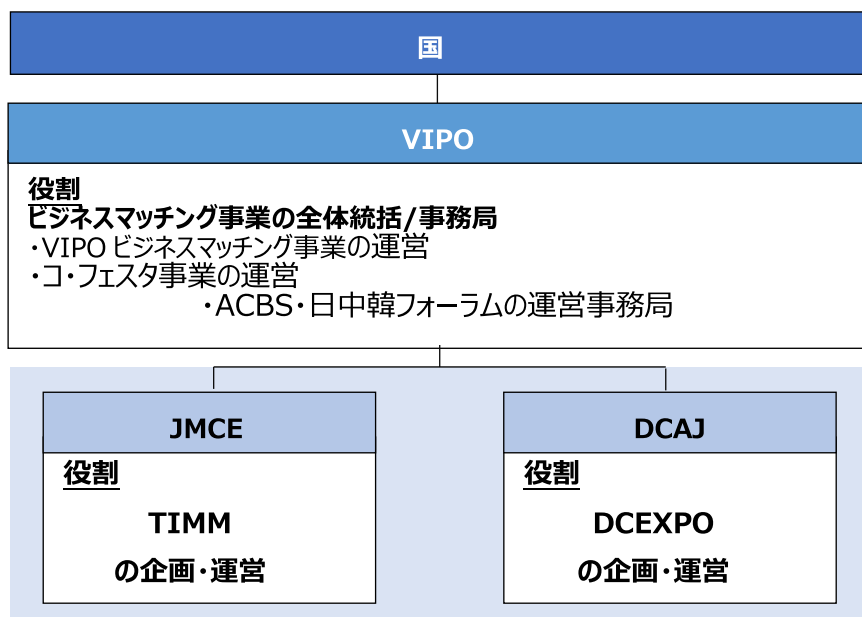
## (2) 内外の市場整備事業

### ① 令和4年度コンテンツ海外展開促進事業（コンテンツ関連ビジネスマッチング事業）

経済産業省

日本発コンテンツの海外市場における持続可能な収益モデルの構築に資するビジネスマッチングモデルの確立を目的とし、複数のコンテンツ分野(映画、アニメ、放送番組、音楽、出版、ゲーム、キャラクターより5分野以上)を対象にしたビジネスマッチング等を、引き続き実施しました。

## 事業全体の枠組み



### I. コンテンツ国際ビジネスマッチングの実施

- 1) 「TTB (Ties That Bind) 企画ピッチ」(4月25日～29日、イタリア・ウディネ)

ウディネ・ファースト映画祭のFocus Asia (インダストリー部門) および、EAVE 主催のラボ Ties That Bind のASIA / EUROPE CO-PRODUCTION WORKSHOP の一部講義に、プロデューサーが、最初の3日間参加し、最終日には参加プロデューサーの持つ企画に対してのスク립ト・コンサルタントとの1対1の脚本ブラッシュアップミーティングを実施しました。

参加プロデューサー：後藤美波氏、朱 永菁氏、柳本千晶氏

- 2) 「アヌシー国際アニメーション映画祭併設見本市 MIFA2022 VIPO ブース出展」(6月14日～17日、フランス・アヌシー)

アヌシー国際アニメーション映画祭併設のマーケット MIFA (Marché international du film d'animation) にて、商談のためのブースを出展しました。ビジネスマッチング事業における商談ブースは2018年以来4年ぶり、2度目の出展。アスミック・エース、ウォルナッツ・クレイワークスタジオ、JET SET GO、テレビ東京、ニューディアーの5社が参加し、合計77件の商談を実施しました。

- 3) 「A-Japan」(6月24日～7月1日、オンライン開催)

北米での TV ドラマシリーズ化およびリアリティーショー（バラエティー番組）化を目指す日本の IP 紹介を中心に「A-JAPAN 2022～ハリウッドを中心とした映像業界向けのピッチング動画配信オンラインイベント～」を開催しました。

参加 IP は、「怪人開発部の黒井津さん」（BookLive）、「刻刻」（講談社）、「この世にたやすい仕事はない」（日経 BP）、「スマホを落としただけなのに」（TBS テレビ）、「それでも、生きてゆく」（フジクリエイティブコーポレーション）、「7人のシェイクスピア」（Green Light）、「火の粉」（ドリームプラス）の 7 作品。累計視聴回数は 1087 回、ピッチデッキダウンロード数は 330 件。

- 4) プチョン国際ファンタスティック映画祭 企画ピッチ「NAFF It Project」（7 月 9～12 日、韓国・富川）「NAFF Fantastic Film School」（7 月 7～13 日、韓国・富川）

アジア最大のジャンル映画祭であるプチョン国際ファンタスティック映画祭併設、「NAFF It Project」に『臣女』（白石晃士監督）と『Left Hand Of The Devil』（亀山睦実監督）の 2 企画が参加しました。事前にピッチトレーニングを受けた両企画の監督およびプロデューサーらがピッチングを実施しました。両企画とも、今後の進展が期待できるミーティングを数多く実施、映画祭が主催したイベントにおいても、海外の映画関係者とのネットワーキングを行う大変有意義な機会となりました。

また、プロデューサー育成のプログラム、「NAFF Fantastic Film School」に、ケイティー・ロン氏（プロデューサー）が参加し、主にジャンル映画の企画や作品を売るノウハウを得るための、ワークショップや業界エキスパートとのトークセッションなどに参加いたしました。

- 5) gamescom インディーゲームビジネスマッチング（8 月 24 日～26 日、ドイツ・ケルン）

gamescom に Japan Pavilion を出展し、日本のインディーゲームを海外のゲームパブリッシャーや投資家に売り込むビジネスマッチングを実施しました。選考を通過した 14 作品及び共同出展企業の 16 作品を Japan Pavilion にて展示・紹介。想定を上回る約 2,500 名が Japan Pavilion に来場し、活発な商談が実施されました。スポンサー企業として、集英社ゲームズ、講談社、PLAYISM も Japan Pavilion に参



加したことにより、オールジャパンとしての取り組みが実施できました。

- 6) 釜山国際映画祭併設マーケット「ACFM」内ブース出展、「APM」企画推薦および「Busan Story Market」出展（10月8日～11日、韓国・釜山）

釜山国際映画祭の併設見本市「ACFM (Asian Contents & Film Market) 2022」にブース出展し、日本映画3企画『10年目のオーダーシューズ』『レンズの下の聖徳太子（仮）』『封じられた町』が合計37件の個別ミーティングを実施いたしました。

なお、同時開催の企画マーケット「APM (Asian Project Market)」にVIPOが推薦した『MY SUNSHINE』（監督：奥山大史氏、プロデューサー：西ヶ谷寿一氏）がAPM Awardsにて「ARRI賞」を受賞。

また、同時開催の「Busan Story Market (昨年度までE-IP Marketの名称)」において、昨年同様ACFMとパートナーシップを結び、出版物の映像化を目指してKADOKAWA、講談社、徳間書店、日経BP、実業之日本社の5社がJapan delegationとして参加。5社は4日間で計186件の商談を行いました。

- 7) TIMM 音楽シンクビジネスセミナー（10月19日、オンライン配信）

2020年度、2021年度に実施した、音楽海外シンクビジネスセミナーの進化版として、実際に日本の音楽がハリウッド映画「ブレット・トレイン」に多数シンクされた事例について、本作品のMusic SupervisorであるSeason Kent氏と日本側の権利クリアランスに関わった田端花子氏、日米両方のクリアランスのプロフェッショナルである備耕庸氏によるパネルディスカッションを実施しました。パネルは米国LAで収録したものをTIMM onlineで日本語/英語で配信、10月20日の時点で506名のインプレッション数がありました。（年末までアーカイブ）

- 8) アジア ゲーム化 IP・コラボ IP ビジネスマッチング（11月30日、12月5日、6日、オンライン開催）

Mobile Premier League（インド）、Asiasoft（タイ）、Magnus Games（マレーシア）の3社に日本企業が保有するIP（ゲーム、漫画、キャラクター等）を売り込むビジネスマッチングを実施しました。

9) ロッテルダム国際映画祭 Rotterdam Lab 企画マーケット ピッチ  
(1月28日～2月1日、オランダ・ロッテルダム)

世界3大映画祭に次ぐ重要なロッテルダム国際映画祭の企画マーケット「CineMart」の一部として3年ぶりに現地開催された「Rotterdam Lab」にVIP0推薦の若手プロデューサー2名（黄インイク氏／後藤美波氏）を派遣。国際マーケットで成功するための各種講義やセッションに参加しました。また、過去2年間オンライン参加したプロデューサー向けの卒業生プログラムも同時開催され2名（井手陽子氏／増渕愛子氏）を派遣、計4名のプロデューサーが参加し、ピッチング、脚本開発、マーケティング、マネージメント等について学ぶと共に、世界中から集まったプロデューサーや映画関係者との交流を介して国際的なネットワーク構築する貴重な機会を得ました。

10) Kidscreen Summit2023 ジャパンブース出展（2月12日～15日、  
米国・マイアミ）

北米最大のキッズエンターテインメント産業見本市である Kidscreen Summit 2023 において、3年ぶりに現地で商談用のブースを出展し、日本の子ども・ティーン向けコンテンツ企業に海外マーケットへコンテンツを展開するための商談機会を提供しました。オンライン参加を含めると今年は5度目の出展となり、日本企業6社が参加し、125件の商談を実施しました。渡航前の準備として希望者に向けて全4回のピッチトレーニングも実施しました。

11) ソングライティングキャンプ in 台湾（2月14日～16日、台湾・台北）  
音楽クリエイターの支援の一環として、日本と海外の音楽クリエイターの共同作業によるコーライトセッションを台湾・台北において実施しました。日本人音楽家10名と、台湾のアーティスト13名が計19曲を制作し、台湾・中華圏アーティストにピッチングされアジア発のヒット曲創出を目指しました。

12) Berlinale Co-Production Market Visitors Programme 参加支援  
(2月18日～22日、ドイツ・ベルリン)

積極的に国際共同製作に携わるプロデューサー、セールスエージェント、投資家らが集まり、国際共同製作のためのネットワーキングおよびプロジェクトをプレゼンテーションするためのプラットフォーム

に、3名のプロデューサーが参加しました。Visitors Programme は、これから国際共同製作を目指す若手プロデューサー向けの「Berlinale Co-Production Market」の体験版という位置づけになり、国際共同製作に関わるためのポイントを包括的に体験することができる内容となっています。

参加プロデューサー：高田聡氏（NEOPA）、來河侑希氏（Allen）、小川夏果氏（E7Films）

- 13) Books at Berlinale 参加支援（2月20日、ドイツ・ベルリン）  
Books at Berlinale に日本から2名のプロデューサーを派遣し、ピッチセッションとマッチメイキングセッションに参加してもらいました。ピッチセッションでは、世界各国から厳選された11作品のピッチを聞き、マッチメイキングセッションでは、計6社の海外出版社と商談を実施しました。
- 14) 韓国映像化 IP ビジネスマッチング（2月7日、8日、16日、17日、オンライン開催）  
The Tower Pictures、SUPERMOON PICTURES（BIG OCEAN ENM）、B.A. Entertainment に日本の小説、コミック、ライトノベルなどの映像化の原作をライセンスアウトすることを目的にビジネスマッチングを実施しました。
- 15) 「第15回 日中韓文化コンテンツ産業フォーラム 本会合」（10月27日～28日、韓国・済州島）（準備会合：7月5日、オンライン開催）  
日本・中国・韓国におけるコンテンツ産業政策、動向に関する継続的な情報交換、及び各国産業界間のビジネスチャンスの創出を目的とする国際会議。本年度の主催国は韓国。  
3年ぶりにリアル開催となりました（※中国はオンライン参加）。  
テーマは「日中韓 XR コンテンツの IP ビジネスの現状と交流方案」であり、第1部：3か国政府間会議、第2部：日中韓デジタル文化コンテンツ企業交流会が実施され、各国の具体的な成功事例が紹介されました。晩餐会などの場でも積極的に意見交換や企業間交流がおこなわれました。
- 【参加機関・団体】＜韓国＞文化体育観光部、韓国コンテンツ振興院  
＜中国＞文化和旅游部、中国文化エンターテインメント産業協会、北京アニメーション・ゲーム産業協会  
＜日本＞経済産業省、VIPO

【日本企業】MOGURA（一般社団法人 XR コンソーシアム）、ハシラス、ダイナモアミュージメント、Gugenka

## 16) ACBS2023 Working Group Meeting（3月15日、中国・香港及びオンライン開催）

アジアにおけるコンテンツ産業の官民関係者を一堂に集めた、クリエイティブメディアとコンテンツ産業の発展を促進する国際会議。香港フィルムアート2023にて、ワーキンググループディスカッションプログラムを実施しました。香港・中国・インドネシア、韓国、マレーシア、タイの代表者が現地にて、また日本をはじめとしたその他関係者がオンラインにて参加し、アジア諸国の国際共同制作の状況等を共有すると共に、次世代に向けた議論が行われました。

## 【ビジネスマッチング実施スケジュール】

| No. | 事業名                                                    | 2022             |    |                  |                 |                  |    |                   |      |     | 2023 |      |      |
|-----|--------------------------------------------------------|------------------|----|------------------|-----------------|------------------|----|-------------------|------|-----|------|------|------|
|     |                                                        | 4月               | 5月 | 6月               | 7月              | 8月               | 9月 | 10月               | 11月  | 12月 | 1月   | 2月   | 3月   |
| 1   | TTB (Ties That Bind) 企画ビッチ                             | 4/26-4/29<br>実施済 |    |                  |                 |                  |    |                   |      |     |      |      |      |
| 2   | アヌシー国際アニメーション映画祭 ビジネスマッチング                             | 準備               |    | 6/14-6/17<br>実施済 |                 |                  |    |                   |      |     |      |      |      |
| 3   | A-Japan ビジネスマッチング                                      | 準備               |    |                  | 6/29-7/1<br>実施済 |                  |    |                   |      |     |      |      |      |
| 4   | ブチン国際ファンタスティック映画祭 NAFF IT Project 企画ビッチ                | 準備               |    |                  | 7/6-7/12<br>実施済 |                  |    |                   |      |     |      |      |      |
| 5   | Perfect World Pictures-リメイクIPビジネスマッチング&脚本家ビジネスマッチング    |                  |    |                  |                 |                  |    |                   |      |     |      |      |      |
| 6   | gamescomインディーゲームビジネスマッチング                              |                  | 準備 |                  |                 | 8/24-8/26<br>実施済 |    |                   |      |     |      |      |      |
| 7   | 釜山国際映画祭 APM (Asian Project Market)                     |                  |    |                  |                 | 準備               |    | 10/9-10/11<br>実施済 |      |     |      |      |      |
| 8   | TIMMシンクビジネスセミナー                                        |                  |    |                  |                 | 準備               |    | 10/19<br>実施済      |      |     |      |      |      |
| 9   | アジアゲーム化IP・コラボIPビジネスマッチング                               |                  |    |                  |                 |                  | 準備 |                   | 実施予定 |     |      |      |      |
| 10  | ロッテルダム国際映画祭 Rotterdam Lab 企画マーケットビッチ                   |                  |    |                  |                 |                  |    | 準備                |      |     | 実施予定 |      |      |
| 11  | ソングライティングキャンプ@台湾                                       |                  |    |                  |                 |                  |    |                   | 準備   |     | 実施予定 |      |      |
| 12  | kidscreen summit 出展                                    |                  |    |                  |                 |                  |    |                   | 準備   |     |      | 実施予定 |      |
| 13  | Berlinale Co-Production Market Visitors Programme 参加支援 |                  |    |                  |                 |                  |    |                   | 準備   |     |      | 実施予定 |      |
| 14  | Books at Berlinale 参加支援                                |                  |    |                  |                 |                  |    |                   | 準備   |     |      | 実施予定 |      |
| 15  | 韓国映像化IPビジネスマッチング                                       |                  |    |                  |                 |                  |    |                   |      | 準備  |      | 実施予定 |      |
| 16  | 日中韓文化コンテンツ産業フォーラム（準備会合）                                |                  | 準備 | 7/5<br>実施済       |                 |                  |    |                   |      |     |      |      |      |
| 17  | 日中韓文化コンテンツ産業フォーラム（本会合）                                 |                  |    |                  | 準備              |                  |    | 10/27、28<br>実施済   |      |     |      |      |      |
| 18  | ACBS (ASIA CONTENT BUSINESS SUMMIT)                    |                  |    |                  |                 |                  |    |                   |      |     | 準備   |      | 実施予定 |
| 19  | コ・フェスタ                                                 |                  | 準備 | 7/7<br>実行委員会実施済  | 各イベント開催         |                  |    |                   |      |     |      |      |      |

## II. コ・フェスタの実施

- 1) 「コ・フェスタ 2022 実行委員会総会」（7月7日、ハイブリッド開催）  
コンテンツ業界団体、関係省庁、政府機関、関係自治体の代表及びコンテンツ関連イベント主催者の代表で組織をし、各イベントの内容紹介、今年度の事業内容について説明を行い、イベント間の連携と情報共有を図りました。新型コロナウイルス感染防止対策の為、随行者の

方には極力配信による視聴をしていただきました。

場所：野村カンファレンスプラザ日本橋 5F 大ホール

出席者総数：38 名 内訳：委員-20 名（代理 9 名含む）、委員同伴者-11 名、幹事 1 名、幹事代理 1 名、イベント関係者-5 名

オンラインオブザーバー：15 名 内訳：委員関係者 8 名、イベント関係者 7 名

## ② マンガ家等クリエイター志望者支援 企画・運営等業務（京まふ 2022）

京都市

京都市から『マンガ家等クリエイター志望者支援 企画・運営等業務』を受託して「京都国際マンガ・アニメ大賞 2022」と「マンガ出張編集部」を実施しております。「京都国際マンガ・アニメ大賞 2022」は、引き続き、マンガ、イラスト、アニメーションの 3 コンテスト体制で運営、応募総数は 2,261 作品、全世界 99 ヶ国/地域からの応募がありました。

9 月 16 日には「京都国際マンガ・アニメ大賞 2022」の表彰式を京都市役所にて実施しました。

本年度の大賞受賞者は、マンガコンテストから『ティオとミア』の Nalu 氏（フィリピン）となりました。

本年度は、広報活動強化を目指し、授賞式及び京まふ各イベントに「月刊ニュータイプ」の取材ブッキングに成功、11 月号にてカラー 2P の取材レポートが掲載されました。

「マンガ出張編集部」は、昨年に続き会場を京都国際マンガミュージアムで 11 月 19 日・20 日の 2 日間、出展出版社 15 社・39 編集部、ブース数 15 ブース×2 日間で 30 ブースにて開催し、121 名の参加者を集めました。

## ③ コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金（J-L0Dlive）

経済産業省 878 億円

令和 2 年度補正予算による「コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金（J-L0Dlive）」の募集を令和 2 年 5 月 27 日より開始しました。今般の新型コロナウイルス感染症のまん延の影響を踏まえ、これにより公演を延期・中止した主催事業者に対して、今後実施するライブ公演の開催及びその収録映像を活用した動画の制作・配信の費用の一部を補助するものです。令和 3 年 3 月 26 日をもって、予算消化率 100%を達成しました。その後事故繰越を行い、補助金支払期限が令和 4 年 7 月 29 日まで延長されました。支払い期限までに全件確定検査が終了し、支払い済となっております。また、令和 3 年 2 月 22 日よりキャンセル料に関する支援を開始し、こちらも全件確定検査が終了し、支払い済となっております。

- ④ コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金（三次補正）（J-LODlive2）  
経済産業省 715 億円+追加 627 億円  
令和 2 年度三次補正予算による「コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金（J-LODlive2）」の募集を令和 3 年 4 月 7 日より開始しました。今般の新型コロナウイルス感染症のまん延の影響を踏まえ、これにより公演を延期・中止した主催事業者に対して、今後実施するライブ公演の開催及びその収録映像を活用した動画の制作・配信の費用の一部を補助するものです。事業の実施期間は、令和 4 年 3 月 31 日までとなっておりましたが、事故繰越を行い、補助金支払期限が令和 4 年 11 月 30 日まで延長され、さらに令和 5 年 3 月 31 日まで延長されました。全件確定検査が終了しております。また、令和 3 年 2 月 22 日よりキャンセル料に関する支援を開始し、こちらも全件確定検査が終了しております。

- ⑤ コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金（J-LOD）  
経済産業省 556.5 億円
- I. J-LOD（1）海外向けのローカライズ&プロモーションを行う事業の支援  
コンテンツが主体となった海外展開を行う際のローカライズおよびプロモーションを行う事業に係る費用について、その費用負担を軽減するため、当該事業を主体となって実施する企業・団体に必要経費の一部を補助します。  
3 月 24 日（木）より公募を開始し、令和 5 年 1 月末で応募を締め切っております。  
確定検査は令和 5 年 2 月末で全て終了しており、3 月末までに全件の支払いが完了しました。
- II. J-LOD（2）海外からの資金調達等のためのピッチングを行う事業の支援  
海外展開を目指すコンテンツの本格的な製作に必要な資金調達、ライセンス販売やパートナー獲得のためのピッチ映像の制作等を行う事業に係る費用について、その費用負担を軽減するため、当該事業を主体となって実施する企業・団体に必要経費の一部を補助します。  
3 月 24 日（木）より公募を開始し、9 月末で応募を締め切っております。確定検査は令和 5 年 2 月末で全て終了しており、3 月末までに全件の支払いが完了しました。
- III. J-LOD（3）with コロナ時代におけるエンタメビジネスを行う事業の支援  
収益チャネルの多様化や顧客体験の向上によって、新たな顧客や、事業

機会の確保、収益の多様化・強靱化を行う、日本発コンテンツを活用したイベントの実施による新たなビジネスモデルへの転換を行う事業に係る費用について、その費用負担を軽減するため、当該事業を主体となって実施する企業・団体に必要経費の一部を補助します。また、緊急事態宣言等によるイベント開催制限等の影響によって、イベント等中止せざるを得ない場合、開催等を延期・中止した公演、展示会、遊園地・テーマパークのキャンセル費用および関連する海外向けプロモーション動画の製作・配信を行う事業に係る費用について、その費用負担を軽減するため、当該事業を主体となって実施する企業・団体に必要経費の一部を補助します。

「ビジネスモデル革新枠」と「収益基盤強化枠」は、3月28日より公募を開始いたしました。「ビジネスモデル革新枠」については、全件確定検査が終了しております。「収益基盤強化枠」については、3月31日時点で確定検査を継続中です。

「キャンセル料支援」については、6月18日より公募を開始し、全件確定検査が終了し、支払も終了しております。

#### IV. J-LOD (4) コンテンツ業界のDXに資するシステムの開発・実証を行う事業の支援

コンテンツ製作・流通工程の効率化に資するシステムの開発・実証を行う事業に係る費用について、その費用負担を軽減するため、当該事業を主体となって実施する企業・団体に必要経費の一部を補助します。

3月17日（木）より公募を開始し、9月末で応募を締め切っております。確定検査は令和5年2月末で全て終了しており、3月末までに全件の支払いが完了しました。

#### V. J-LOD (5) ストーリー性のある映像制作・発信を行う事業の支援

デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業に係る費用について、その費用負担を軽減するため、当該事業を主体となって実施する企業・団体に必要経費の一部を補助します。

3月17日（木）より公募を開始し、9月末で応募を締め切っております。確定検査は令和5年2月末で全て終了しており、3月末までに1件を除き支払いが完了しました。

⑥ コンテンツ活用促進事業

東京都

令和4年度予算における当該事業の事務局を受託しています。この事業では、コンテンツ企業と異業種企業（製造・医療・福祉・教育・商店街・小売等）のニーズを踏まえたセミナーの開催と、相互の連携を促進するためのマッチング交流会を実施しました。今年度はオンラインにて12月7日（水）・8日（木）の2日間で開催し、参加企業数はコンテンツ企業46社、異業種企業23社を記録しました。

I. セミナー 2本

II. マッチングイベント

マッチング成立165件、うち当日商談数158件

⑦ 令和4年度 メディア芸術海外展開事業

文化庁

文化庁が主催している『メディア芸術祭』の受賞作品・作家等を中心に、海外に向けて日本コンテンツや作家を紹介・展示・プロモーションする事業です。

例年、アヌシー国際アニメーション映画祭（フランス）、アルスエレクトロニカ（オーストリア）、マンガバルセロナ（スペイン）にて展示・パフォーマンス・トークイベント等を実施し、また、年間を通じて、海外のフェスティバルにてアニメーションプログラムの上映を行っています。2020年から2年間は全てオンラインでの実施でしたが、今年度は3年ぶりのリアルな参加となり、また、参加フェスティバルが1つ増え、4つとなりました。（フランクフルト・ブックフェア/ドイツ）

⑧ アーカイブ中核拠点形成モデル事業

文化庁

5年目となる、アーカイブ中核拠点形成モデル事業を受託しました。

今年度の調査研究業務の映画資料調査対象施設は、東京世田谷地区のTOHOスタジオ、東宝映像美術、世田谷文学館に加え昨年からの調布地区の東京現像所の二次調査、また地域を北海道地区に拡げ、閉館中の北の映像ミュージアム、登別から移転した札幌映像機材博物館の調査を実施しました。

「映画資料所在地情報検索システム（略称：JFROL）」は、本年度は新たに北九州市立松永文庫（福岡）、早稲田大学演劇博物館（東京）のデータベースとの接続を完了し、1月19日に一般公開を開始（実証実験として～3月31日まで）しました。

デジタルアーカイブ実証研究は、戦前の名作の台本や、記録係が残した撮影使用台本の差し込み、貼りこみ書類のある台本のデジタル化に取り組みました。



1月30日に「全国映画資料アーカイブサミット 2023」を6部構成のプログラムでオンライン開催し、申込数337名（昨年度325名）、当日参加者数244名（昨年度226名）と歴代最多数の申込&参加数となりました。

2月11日～19日の期間に、調布市文化会館たづくり北ギャラリーにて「映画はいかにして作られ、そして楽しまれてきたか ～最新調査で発見された映画資料展～」というタイトルで映画資料調査の実証展示を開催しました。

北ギャラリー受付での集計人数1673人（※同時に同会場で開催の別展示と共通の集計）と昨年度の3倍の来場者数となりました。

- ⑨ 全国ロケーションデータベースの利用促進のための調査 文化庁  
全国のフィルムコミッション(FC)が保有している情報をネット上に集約し国内外に向けて情報提供を行う「全国ロケーションデータベース(JL-DB)」利用促進のための調査事業です。運営事務局をジャパン・フィルムコミッション(JFC)とコンソーシアムを組み双方のネットワークを活かした運営を行いました。

本年度は、JL-DBシステム及びモバイルアプリのメンテナンス、課題等について調査を実施し、修正を行いました。また、映像制作者の利便性をより高める目的で、実証実験としてロケ地のGoogleストリートビューと連携したバーチャルロケハン機能を追加設計し、全国FCからの応募を受け、11月から3月にかけて約20ヶ所のロケ地の撮影を行い、ロケ地360°VR写真を実装しました。また、広島市で開催した「JFCアワード」(8月)、加えて地域FCの受け入れ態勢強化の一環としてJFCが主催する、「JFC全国ロケ地フェア2022夏」(8月)、「JFC全国ロケ地フェア2023」(1月)については昨年度に引き続き、ブースを設営してJL-DBの広報活動を行いました。

- ⑩ コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業

文化庁（補助金総額：556億円）

前期に引き続き、令和4年1月に受託した令和3年度補正予算による「コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業」として、以下の2つの補助金の事務局を運営致しました。

#### I. ARTS for the future! 2

令和4年3月28日から10月14日まで申請を受け付け、申請件数は8,277件、採択件数は6,934件となりました。申請期間が長く、その間

に複数回の差し戻しを行ったため、採択率は 92%と非常に高い数字となり、要件を満たした申請はほぼ全件採択されております。

また、申請時に経費等を精査したこともあり、実績報告時の減額もほとんどなく、99%以上が実績報告額と同額での補助金確定となりました。

## II. 統括団体によるアートキャラバン

令和 4 年 2 月 28 日に募集開始し、地域連携型として応募件数 2 件のうち 1 件を採択し、大規模公演型として応募件数 15 件のうち 12 件を採択致しました。

### ⑪ 統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン 2)

独立行政法人日本芸術文化振興会

(補助金総額：100 億円)

令和 3 年度補正の後継事業として、令和 4 年度補正予算にて実施される事業の事務局運営業務を請け負いました。2 月 20 日から 3 月 1 日まで補助事業者の募集を行い、応募のあった 27 件の中から、17 件を採択として 3 月 31 日に採択通知を発出しました。

### ⑫ 令和 5 年度文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(キャラバン)

独立行政法人日本芸術文化振興会

(補助金総額：5 億円)

令和 5 年度当初予算による事業の事務局運営業務を請け負いました。2 月 20 日から 3 月 1 日まで補助事業者の募集を行い、21 件の応募がありました。

### ⑬ アフターコロナに向けた外国映像作品ロケーション誘致に関する実証調査(ロケ誘致 2021)

内閣府

日本において製作・撮影される海外映像作品に対し、製作費用の一部を実費(インセンティブ)支援し、該当する作品をロケーション誘致することで、日本国内においてインセンティブが海外からの大型映像作品の撮影ロケーション誘致にどのような効果があるか、実際に海外から大型映像作品の撮影ロケーション誘致を行ってそれによる地域経済の振興等への効果等を実証調査する事業を、2021 年秋に受託いたしました。

しかしながら、新型コロナ感染の影響での、入出国管理の厳格化により、海外映像作品の誘致ができない状況が続き事業実施が次年度繰越となり、支援対象となる作品の募集を本年度から再開する方向となった背景があり

ます。6月に大型実証調査作品2作を採択しました。そのうちの一作品(国内撮影予算40億円配信ドラマ)の撮影ロケ現場を8月20&21日に京都で視察しました。

10月20日には、前記一作品の配信ドラマロケ現場視察(都内)を実施しました。また、ニュージーランドのインセンティブ制度規約調査を行いました。11月6日には、2作目の実証調査作品がクランクインしております。本作品は2023年5月21日アップの予定です。

⑭ デジタル時代に向けた大型外国映像作品ロケーション誘致に関する実証調査事業(ロケ誘致2022) 内閣府

日本において製作・撮影される海外映像作品に対し、製作費用の一部を実費支援(インセンティブ)し、該当する作品をロケーション誘致することで、日本においてインセンティブが海外からの大型映像作品の撮影ロケーション誘致にどのような効果があるか、またそれによる地域経済の振興等への効果がどの程度あるのか、実際に海外から大型映像作品の撮影ロケーション誘致を行って定量的・定性的に把握するための事業です。

12月に大型実証調査作品を採択しました。

採択作品について、12月中に都内でハリウッドの大物スターが出演する部分の撮影を無事に終了しました。

本作は8月にSony Picturesにより全世界劇場公開される予定です。

⑮ 令和4年度日本書籍翻訳・普及事業 文化庁

文化庁から当該事業を受託し、助成金事業と翻訳コンクール事業の2つを実施しました。助成金事業に関しては、数多くの応募の中から企画書の翻訳・作成:100作品、サンプルの翻訳:22作品を採択しました。すでにいくつかの採択作品の海外翻訳出版が締結されています。プロモーション施策の一環としてフランクフルト・ブックフェアにブースを出展し、採択作品の展示・紹介を実施しました。また、ブースにおいて若竹千佐子氏のトークショーも実施しました。

翻訳コンクールに関しては、英語部門:256件、フランス語部門:117件の応募があり、それぞれ3名の受賞者を決定しました。前回の翻訳コンクールの受賞者向けのワークショップも開催し、BUNGAKU DAYS 2023 SPRING と称した受賞者紹介・記念シンポジウムも開催しました。

⑯ 令和4年度海賊版対策事業(トレーニングセミナー) 文化庁  
文化庁著作権課から受託した新事業になります。特定の国・地域等における

る海賊版取締りの実効性を高めながら、正規版の流通を促進するため、東南アジア3カ国（シンガポール、タイ、フィリピン）の政府機関及び事業者の知財関係者を対象とした全3回のセミナーをオンラインで実施しました。（約2,500名参加 アーカイブ視聴含む）

【第1回】12月9日（金）「現状把握と問題提起：3か国の専門家との対話」

【第2回】12月13日（火）「ケース・スタディ：3か国の著作権侵害訴訟とIPビジネス成功例から学ぶこと」

【第3回】12月20日（火）「近未来への提言：アニメーション映画『竜とそばかすの姫』世界的ヒットから考える、オリジナルIPの守り方と攻め方」

各国とも新型コロナウイルス感染症の流行などの影響を受け、著作権侵害が増加している状況が確認されるとともに、それぞれの国における著作権に関する法制度や最新の海賊版対策の情報について共有されました。また、海外展開にあたっては、相手国の著作権登録等の法制度を踏まえること、効率的・効果的にローカライズを進めることについての示唆が得られる内容となりました。

- ⑰ デジタル映像クリエイティブ拠点化推進調査・分析業務事業 自治体  
地方都市を拠点とした映像制作の可能性について、調査・分析・報告を行いました。

海外映像作品の日本国内での撮影において、一番の課題はロケーション撮影の許認可・対応だと言われていますが、製作者側からは、他の課題として、大型のセットが組めるスタジオが無いことも指摘されています。

本事業では、都心には無い地方の大型施設を撮影スタジオとして誘致し有効活用できるかの可能性について、地方自治体から調査の依頼を受け、VIPOが様々な事業を通じて人脈を培った映像産業に従事する多様なスタッフ、業者、関連団体へのヒアリングを行い、結果の分析・報告をしました。

併せて、デジタルでのデータのやりとりが当たり前になった映像産業において、地方を拠点とした映像作りの将来についての示唆となる調査にもなりました。

### （3）自主事業

#### ① VIPOアカデミー

2015年5月に開設し、今年度は8年目を迎えました。

新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、前期に引き続き全コースZoomを

活用してオンライン開催しました。

I. 春期（5月～8月）の実績（以下、参加者人数は、VIPO スタッフ除く）

「コーポレートリーダーコース」参加者 8 名

「プロジェクトリーダーコース」参加者 12 名

II. 秋期（9月～11月）の実績

「コーポレートリーダーコース」参加者 7 名

「プロジェクトリーダーコース」参加者 12 名

III. 冬期（12月～3月）の実績

「業界研究ベーシックコース」参加者（一括）6 名、（単発のべ）137 名

「リーガル・エッセシャルコース（基礎編）」参加者 4 名

「リーガル・エッセシャルコース（実践編）」参加者 7 名

「アカウンティング・エッセシャルコース（財務会計編）」参加者 6 名

「アカウンティング・エッセシャルコース（管理会計編）」参加者 7 名

IV. インハウス研修その他

VIPO 内 AFF/J-LODlive/その他を対象に「コミュニケーションワークショップ」を 7/13（水）・8/1（月）・8/3（水）に実施。

2019 年度より実施している「城西国際大学生対象業界研究セミナー」をグローバル推進事業部との共催により 10/29（土）・11/12（土）に実施。

クオラス様向けに 1/18（水）・25（水）「リーガル研修基礎」を実施。

IMAGICA Lab. 様向けに 1/26（木）・2/2（木）「CS 向上研修」を実施。

V. 来年度への展望

開講より 8 年目になり、受講者数が 794 名となりました（133 社 794 名 受講：3 月 1 日現在）。

冬期開催より、リーガル・エッセンシャルを基礎編（3 コマ）・実践編（3 コマ）、アカウンティング・エッセンシャル（旧ファイナンス・エッセンシャル）を財務会計編（2 コマ）・管理会計編（2 コマ）としてリニューアルを行い実施しました。

来期以降、コーポレートリーダーとプロジェクトリーダーでは原則オンライン開催ですが、内 3 日ずつ会場開催日を設け、受講者がこれまで（のオンライン開催のみ）よりネットワーキングができる環境を整えます。また、コーポレートリーダーでは全体の振り返りの 1 コマを

追加、両コースにて卒業 6 か月後のフォローアップを 1 コマ追加して開催予定です。

今後も受講者のニーズに対応するために、講師とも講座内容を精査し、企業へのヒアリングを実施して、それをもとに必要な変更を実施します。

派遣型の講座および単発講座においても、会場、オンラインいずれの形でも開講可能となっており、その開催も併せて推進することで、参加企業、参加者の増加及び事業採算の向上を目指します。

## ② セミナー・ワークショップ事業(有料)

### I. 「福井健策弁護士法律セミナー2 時間で俯瞰する、メタバースの法律問題」(5 月 20 日、オンライン開催)

講師：福井健策氏（弁護士）

参加者：97 名

### II. 「WEB3.0 で多様化する映像制作の資金調達～DAO・NFT 分散型プロジェクトの可能性～」(7 月 21 日、オンライン開催)

講師：川瀬好一氏（株式会社ゼノトゥーン CEO/Founder）

参加者：59 名（一般 47 名、会員 12 名）

### III. 「VIPO × SOZO presents AFA (Anime Festival Asia) 紹介セミナー」(8 月 26 日、オンライン開催)

講師：ショーン・チン氏（SOZO PTE LTD 創業者）

参加者：44 名

### IV. 「城西国際大学 業界紹介セミナー」(10 月 29 日、11 月 12 日、リアル開催)

登壇企業：株式会社東京音響通信研究所、株式会社プロマックス、株式会社ムーブマン、アソビシステム株式会社、株式会社サニーサイドアップ、Collab Asia、株式会社ダイナモピクチャーズ、マーザ・アニメーションプラネット株式会社

参加者：城西国際大学学生 各日約 200 名（後日アーカイブ映像含む）

### V. 「テレビドラマ制作セミナー ～日本発オリジナルドラマの真髓～」

(11 月 22 日、オンライン開催)

登壇者：脚本家 大石静氏、テレビ朝日プロデューサー 貴島彩理氏

モデレーター：さらだたまこ氏

参加者：44 名

VI. 「映画プロデューサー養成講座 基礎編」(12 月 6 日、7 日、リアル開催)

講師：安藤紘平氏 早稲田大学名誉教授

ゲスト講師：山本晃久氏 映画プロデューサー

参加者：15 名

VII. 「福井弁護士法律セミナー デジタルマーケットの著作権処理  
～クリエイター発信、n 次創作、メタバース市場の権利実務と未来～」  
(12 月 16 日、オンライン開催)

講師：福井健策氏 (弁護士)

参加者：59 名

VIII. 「中国ビジネス攻略セミナー：ビジネス編」(2 月 9 日、オンライン開催)

講師：分部 悠介氏 (IP FORWARD グループ総代表・CEO)

参加者：54 名

IX. 「中国ビジネス攻略セミナー：法律編」(2 月 15 日、オンライン開催)

講師：分部 悠介氏 (IP FORWARD グループ総代表・CEO)

参加者：29 名

X. ショーランナーセミナー (3 月 16 日、オンライン開催)

講師：ジャスティン・マークス氏 (脚本家「トップガン マーヴェリック」)

参加者：76 名

XI. 「オリジナルアニメの企画作成講座」(3 月 22 日、29 日、リアル開催)

講師：小林雄次氏 (脚本家、小説家)

ゲスト講師 1 日目 内田裕基氏 (脚本家)

2 日目 藤志穂氏 (東映アニメーションプロデューサー)

参加者：10名(応募23名から選出)

(総参加人数：887名)

### ③ AFI Conservatory 日本人留学生推薦事業

将来の映像産業を担うプロフェッショナルの発掘と育成を目指すと共に、日本の映画企画や若手クリエイターが世界に出ていく仕組みを構築する事を目的とし、AFI(American Film Institute)Conservatoryへ留学を希望する日本人の推薦活動を運営しております。AFI Conservatoryへの入学が正式に決定した場合、“T.Y.奨学金制度”がAFI Conservatoryの判断により給付される可能性があります。

また、将来的には留学生、卒業生等の講演やワークショップを日本で実施するなど、AFIへ留学を希望する日本人の数および質の向上を目指しております。

- ・VIPO内サイトにおいて募集告知及び会員を含め約11,000名に告知メール配信(7月)。

- ・映像・演劇関連2サイトに告知投稿(8月)。

- ・募集前後に本年度問い合わせ2件あり(2022年7月、8月)。

- ・締め切りは9月26日。本年度は応募が4件あり、そのうち推薦した1名、戸田義久氏が撮影監督 / Cinematography コースに合格しました。

(2023年秋期入学予定。)

### ④ 交流促進事業

#### I. 海外の同様の機関等と交流の推進

本年も、新型コロナウイルスの影響からの回復途上にあったことから、例年実施している様々な海外の機関との交流を実施するに至りませんでした。

### ⑤ 情報サービス事業

#### I. Japan Creator Bank (略称：JCB)

年間約100件の問い合わせがありました。依然として国内からの問い合わせ(許諾や仕事の依頼等)が多い状況ですが、海外からも“映画のプロデューサーを探している”“日英バイリンガルの脚本家を探している”“日本の声優にイベントに出演してもらいたい”等の問い合わせがいくつか来ている状況です。



## II. Japan Content Catalog (略称：JACC)

JL-DBに登録されているロケ地 150 件に新たに中国語のデータを追加しました。

## III. Japan Book Bank (略称：JBB)

今年度を通して 49 件（イタリア：15 件、スペイン：7 件、ドイツ：5 件、フランス：5 件、セルビア：4 件、タイ：3 件、韓国：3 件、アルゼンチン：2 件、ブラジル：2 件、メキシコ：2 件、ポーランド：1 件）の翻訳出版契約が成立しました。約 60%がコミックの翻訳出版契約となっています。

日本書籍翻訳・普及事業とメディア芸術海外展開事業と連携して、フランクフルト・ブックフェアにブースを出展し、様々なプロモーション活動を実施しました。その結果として、出版物登録が約 4,300 件と順調に増え、海外からの ID 登録者も 64 の国と地域から 600 人超になりました。

### ⑥ フェスティバルスコープ事業

【内容】海外映画祭プログラマー等への日本映画 PR・紹介を目的として、ヨーロッパのプラットフォーム「Festival Scope Pro」への VIP0 特設ページ開設と日本映画 PR を行いました。

【時期】年 2 回更新（カンヌ映画祭後、およびベルリン映画祭前にページの更新を実施）

【本数】46 本の日本映画を掲載

【掲載ページ】<https://pro.festivalscope.com/label/show/vipo>

### ⑦ VIP0FilmLab 事業

今年度から 2 コースを 7 コースに拡大して実施。また事業独自の WEB サイト構築も行いました。

<https://filmlab.vipo.or.jp/>

## I. 国際プロデューサー育成講座の実施（継続）

【開催時期】7 月～12 月（全 10 回）オンライン開催

【参加者】国際的に活躍を志望するプロデューサー（23 名）

## II. 脚本コース@ウディネ（脚本のリライトを前提とした個別指導講座）（新規）

【開催時期】4/26～29（4日間）

【講師】Clare Downs 氏

【参加者】後藤美波氏、朱永菁氏、柳本千晶氏

イタリア・ウディネで行われているファーイースト映画祭の Focus Asia(インダストリー部門)および、EAVE 主催のラボ Ties That Bind の ASIA / EUROPE CO-PRODUCTION WORKSHOP の一部講義に参加。

### III. 映画の企画脚本講座（新規）

【開催時期】9/13、14（2日間）

【講師】加藤正人氏（脚本家・映画『クライマーズ・ハイ』、『風待ち』）

【参加者】脚本家、映画プロデューサー、長編映画監督をめざす 12 名  
オリジナル映画企画を作成することに主眼をおいた講座を初めて開催。

### IV. VIPO スカラシップ（新規）

【対象者】プロデューサー 水野詠子氏、ほか監督 1 名

【参加プログラム名】EAVE Producer's Workshop 2022

自主事業「VIPO Film Lab」参加者の出口として、ヨーロッパ最大の国際プロデューサー育成組織 EAVE が実施するプロデューサー・ワークショップ（EAVE Producer's Workshop）に選出された日本人プロデューサーへのスカラシップの支給を実施しました。

### V. 俳優コース（継続）

第一線で活躍されている映画監督による「俳優育成ワークショップ」

【開催時期】10/6、13（2日間）

【講師】犬童一心監督

【参加者】俳優 18 名

将来の映像産業を担う俳優の発掘と育成を目指し、第一線で活躍する映画監督による俳優養成の 2 日間集中講座を開催。

### VI. 監督コース（新規）

【開催時期】11 月 28 日(月)～12 月 2 日(金)（全 5 日間）（対面実施）

【講師】ブリス・コヴァン氏（フランス国立映画学校（FEMIS））

【参加者】4 名

フランス国立映画学校（FEMIS）や海外で教鞭をとるブリス・コヴァン氏を講師に招き、4 名の監督に映画監督として国際的に活躍するために必要な映画表現や専門知識を提供した本コースは、講義と実習を合

わせたボリュームのあるワークショップとなりました。

#### VII. 映画の企画開発講座（新規）

【開催時期】2/28、3/1（2日間）

【講師】池端俊策氏（脚本家）

米倉リエナ氏（演出家、演技講師）

【モデレーター】篠原圭氏（NHK エンタープライズ）

映画の企画を作成することに主眼を置いた講座をリアル開催しました。選考された10名の受講者が自分の企画をどのような作品にしたいかを提案し、講師からの講評・アドバイスでブラッシュアップしました。脚本家志望、映画プロデューサー志望の方が参加しました。

#### ⑧ IKURA 事業

##### I. 【事業内容】

映画監督によるオリジナル企画と映画プロデューサーを繋ぐマッチングサービスの運営。

IKURA 公式サイト》 <https://www.ikura-vipo.jp/>

##### II. 【実施事項】

1) 「映画企画ブラッシュアップ講座&ピッチトレーニング」

2) 脚本開発支援

登録監督によるオリジナル映画企画とプロデューサーのマッチングが成立した案件に対し、脚本開発支援を行う制度を構築しました。申請書による書面審査と面談を実施し、3月に対象企画を1件決定しました。

##### III. 【登録数】

登録企画：60 企画

登録監督：32 名

#### （4）組織運営

##### ① 会員の状況

###### I. 新規入会

個人会員 0 名 法人会員 8 社 賛助会員 0 社

###### II. 退会

個人会員 1 名 法人会員 1 社 賛助会員 2 社

###### III. 現在の状況

- ・ 会員数：個人会員 2 名 法人会員 103 社 賛助会員 6 社
- ・ 会費及び入会金 入金額(予定含む) 47,920 千円（昨年比 1,400 千円減）

## ② 通常総会、理事会、幹事理事会

本年の通常総会、理事会、幹事理事会はいずれも新型コロナウイルス感染症への対応を考慮に入れ、実参加に加えオンラインでのご参加も可能とする方法にて開催致しました。

### I. 通常総会

本年度は令和 4 年 6 月 28 日に通常総会を開催し、令和 3 年度の事業報告・会計報告、令和 4 年度の事業計画・予算・役員の選退任等について決議をいただきました。

### II. 理事会

- ・ 令和 4 年 6 月 8 日に開催し、通常総会の審議事項について決議いただきました。
- ・ 令和 4 年 6 月 28 日に開催し、幹事理事、理事長、副理事長互選について決議いただきました。
- ・ 令和 4 年 12 月 2 日に開催し、中間事業報告を行いました。

### III. 幹事理事会

- ・ 令和 4 年 4 月 14 日に開催し、令和 3 年度の事業報告(案)及び決算見通しの報告を行いました。また、令和 4 年度事業計画(案)及び収支予算(案)の報告を行いました。
- ・ 令和 4 年 6 月 8 日に開催し、通常総会の審議事項及び理事会の審議事項について報告を行いました。
- ・ 令和 4 年 12 月 2 日に開催し、中間事業報告を行いました。

### IV. 会員交流会

例年、通常総会後に開催している会員交流会ですが、昨年に引き続き本年度は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮に入れ、開催を断念致しました。

## (5) 広報活動

### ① 「VIP0 年間活動報告 2021」の発行

「VIP0 年間活動報告 2021」（40 ページ）を 6 月 24 日付にて発行し、会員及び役員に配布しました。事業・広報活動等において“対面”で説明する際に活用しております。海外向けとしては、英語サイトの更新を随時行うようにしています。

## ② ホームページの運営

ホームページにおいて、随時活動報告及びコンテンツ業界の情報を掲載いたしました。

2016 年 9 月より開始したコンテンツ業界に関わる人やイベントをテーマにしたインタビュー企画では、以下を取り上げました。

### ■2022 年 8 月

会社はひとつの家族と同じ、みんなで笑顔をつくっていく—— 地方に世界に笑いを届ける吉本興業 大崎会長の経営術（VIP0 アカデミー「コーポレートリーダーコース」経営者講演より再構成）

### ■2022 年 8 月

注目のロックオペラ『犬王』のプロデューサー竹内文恵氏（アスミック・エース株式会社）に聞く！ みんなが簡単に思い浮かばないイメージだからこそ、すごいものができる！

### ■2022 年 9 月

KOCCA 日本ビジネスセンター長 李 咏勲（イ ヨンフン）氏に聞く—ウイズコロナ時代における韓国コンテンツ業界事情とは—「コンテンツで国民の文化的体験を豊かにすることは昔も今もかわらないモットー」

### ■2022 年 10 月

今秋公開『夜を越える旅』の監督とプロデューサーが「プチョン国際ファンタスティック映画祭」企画マーケットに参加し、凱旋上映、劇場公開を果たすまで

### ■2023 年 2 月

想像力がなければ、新たな創造はできない——次世代へのバトンを繋ぐポニーキャニオン吉村社長の経営思考（VIP0 アカデミー「コーポレートリーダーコース」経営者講演より再構成）

## ■2023 年 3 月

内閣府に聞く―クリエイターやアーティスト、個人プレイヤーが社会の知財・無形資産をフル活用できる経済社会へ

田中茂明氏（内閣府 知的財産戦略推進事務局長）

### ③ VIPO 会員とコンテンツ事業者へのメール配信

VIPO の活動報告を毎月定例で発信する「VIPO プレス」の発行と、会員各社の情報や事業活動などを不定期に発信する「VIPO ニュース」を継続的に発信しました。メールニュースの配信先数(コンテンツ事業者)は、約 9,716 件（2023 年 3 月 14 日現在）です。

### ④ 事業活動情報の記事露出

主にプレスリリース配信などを通し、プレスに対し事業活動の最新情報を定期的に発信することで、業界紙・誌を中心にパブリシティを獲得いたしました。

6 月に「Japan Book Bank」の記者会見が開催されて以降、業界紙に記事を掲載していただくことが増えました。東京新聞には「世界が注目 日本の小説」というテーマで「日本書籍翻訳・普及事業」とともに書いていただきました。読売新聞からは「文化を売る」（5 回シリーズ）というテーマで取材を受け、「日本の書籍翻訳 コロナ禍で商機」と題して「日本書籍翻訳・普及事業」「Japan Book Bank」が、「エンタメ 鈍い海外発信」と題した記事では「ロケ誘致」が記載されました。

下期は文化通信から VIPO Film Lab の取材を受け、12 月 17 日に 3 ページに渡って掲載されました。朝日新聞・文化部より J-LOD についての取材依頼があり経産省の担当者をご紹介しました。また、ndjc2022 の上映会には多くの記者に参加いただき記事を書いていただきました。

→今年度（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 22 日）は約 477 件の記事掲載がありました。（※PR Times の 75 記事分含む、VIPO 名の記載がない記事は除く）

（2021 年度：約 447 件 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日時点）

「映画の企画脚本講座」「京都国際マンガ・アニメ大賞」「VIPO Film Lab」事業が PR Times（プレスリリース配信サービス。使用することで最低 20 媒体への掲載が保証される）を利用し、75 媒体に掲載されました。

以上